

こちまさこさん 日本自費出版文化賞

県立姫路高等学校30期のこちまさこ(古知正子)さんの力作「一九四五年夏はりまー相生事件を追う」が、日本自費出版文化賞地域文化部門賞を受賞。東京自費出版フェスティバルで授賞式がありました。

終戦直後に相生の造船所で起こった中国人工員被害事件を追ったルポルタージュで、ご本人は「皆様の励ましのおかげで、ここまで来られました。老齢のご褒美を実感しています」と。本作を執筆するに当たっては、事件現場の相生を訪ね、中国にまでも足を運び、調査されたご苦労が実を結んだものです。



は、終戦後、多大な犠牲を出しながら中国東北部(旧満州)から逃れた満蒙開拓団を追った「一九四五年夏満州―七虎力の惨劇」も同時に出版。誰もが加害者となると同時に被害者ともなる戦争の真相を追求し続けています。

さらに戦争と人間にこだわり、語り合い、後世に伝えることの大切さを説き続けてきました。「姫路戦後地図をつくる会」の代表として空襲の犠牲の上に今の平和と繁栄があることを忘れないために「聞き書き姫路の戦後史ⅠⅡ」も出版。ふるさと姫路の復興のために真剣に生き抜いた市民の皆さんの当時の情景を克明に描写されました。

女性史の研究にも深く旺盛な創作意欲をもった作家として、また、同窓の誇りとして、今後さらなる活躍をお祈りします。

受賞作「はりま」他



注目の彫刻家 阿部鉄太郎さん



創立百周年記念事業の「ヤマトヤシキ展」に出品が決まった阿部鉄太郎さん(東高48回)は、現在、注目を浴びている若手彫刻家です。日展に連続入選し、2008年11月の第40回日展においては「shortcut」で特選を受賞。

阿部さんは、東高卒業後、岡山大学・同大学院教育研究科で美術教育を学び、現在は日展会友、日本彫刻会会員であり大学美術教育学



熱唱する本馬さん(左)と増尾さん(右)

恩師にささげる夢追人・RYTY

平成21年3月8日(日)、東生会館大ホールにギターの音色と歌声が。今年卒業したばかりの61回生の本馬剛徳さんと増尾龍太郎さんの2人が恩師を前に卒業のお礼として演奏をしていたとのこと。ユニット名は「RYTY(ライト)」で、曲はオリジナルの「夢追人」。「年次主任の吉原先生の『夢を追う旅人』と言うことばに感動してふたりでつくりました。三年間、本当にありがとうございました」と話してくれました。



会、日本美術教育学会に所属。高知大学教育学部で講師として学生の指導にも当たられています。

「高等学校美術教育における素描指導の一考察」などの論文を発表されるなど活発な活動をされています。